

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP 公開 (  可 ・  否 )

区 分	1.森づくり 4.森と暮らし	2 森の恵み 5.森の文化財	3.森と技 6.森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方	—		
タイトル	山の神講		
伝承地域	石川郡石川町		
由 来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられたか)</p> <p>講とは信仰を目的として組織された社会集団で、集落などを単位としたものから、それよりも小さな単位、あるいは任意に加入するものなどがあり、地域社会の中で果たした役割は大きい。</p> <p>地域の中だけの特定の神仏を祀り、回り宿に集まり共同の祈願や飲食をともにし懇親を深める講と、地域外の寺社に代参することを目的として構成された代参講がある。</p>		
内 容	<p>(内容とともに、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>山の神は、山仕事をしている人にとっては山での安全を祈る神であり、農民にとっては田の神として豊作を見守る神にもなっている。</p> <p>石川町内には、外楨新屋敷、王子平、形見、田中、板橋、母畑田ノ入、母畑法昌段、母畑小田口、中野等の地区に山の神講の伝承がある。</p> <p>同じ山の神講であっても、講の構成員のあり方、講の実施時期など地区により違いがみられ、山の神を信仰する以外にも、地域の懇親を深めたり、男女間の交流する面がみられるなど様々な形があった。</p>		
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	(出典)『石川町町史 第7巻下 各論編2 民俗』 石川町教育委員会		

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名（ふりがな）		※顔写真ありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。（貼りつけずに名前がわかるようにして同封ください。）
	性別・年齢	男 ・ 女	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年生	
	住所・電話	〒 電話	
団体	職業		
	団体名（ふりがな）		
	代表者氏名（ふりがな）		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	
	問い合わせ先		電話

フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

[母畑田ノ入地区の山の神講]

男の山の神講と女の山の神講がある。男女が一緒に講を催すと山の神さまが嫉妬するので別々に行うという。

男の山の神講では、宿に天狗の姿が描かれた大山祇神社の掛け軸を掛け、酒、塩、ミズザカナ(魚と豆、芋の煮メ)の膳を山の神に供え、山仕事の安全を祈る。翌日、女性だけが宿に集まり飲食をともにする。

「天狗の姿をした山の神の掛け軸」



(石川町教育委員会)

※活動の様子が分かる資料等があればコピーを1部ご恵与ください。